

2025年4月入学者用

Osaka Kyoiku University

大阪教育大学

特別支援教育特別専攻科



特別支援教育 特別専攻科

発達障がいをはじめ
特別なニーズのある子どもを理解し
支援する高い実践力を備えた
人材を育成



■ 目的

特別支援教育特別専攻科は、特別支援教育の充実に資するために発達障がいをはじめとする幅広い障がい種に関する専門教育を行い、実践的な指導力のある教員を養成することを目的としています。特別支援教育の現場では、子どもたちの障がいの多様化、重度化、重複化が進んでいます。また、通常の学校(通常の学級)においても、障がいのある子どもへの理解と支援が求められています。本専攻科では、インクルーシブ教育システム構築の観点から、子どもの個々の能力や個性、ニーズに応じた高度な教育支援を実践できる教員の育成をめざします。

■ 概要・特色

特別支援教育特別専攻科の入学定員は30人となっています。修業年限は1年間で、出願資格である幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教諭の普通免許状のいずれかを有する方は特別支援学校教諭一種免許状を取得することが可能です。本専攻科では通常の講義に加えて、教育現場における実習経験の機会を豊富に用意し、実践的な知識・技能の習得を目指します。過去に大学等で特別支援教育を専門的に学んだ経験のない方も対象としていること、現職教員の方々と共に学ぶことも本専攻科の特色です。

● 令和6年度 特別支援教育特別専攻科 入学定員・入試結果一覧 令和6年4月1日現在

区分	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者
特別支援教育特別専攻科	30人	24人	24人	24人	22人

主な開講科目(必修科目)

特別支援教育総論、知的障害者の心理・生理・病理、肢体不自由者の心理・生理・病理、病弱者の心理・生理・病理、発達障害教育、発達障害指導論、聴覚障害教育、知的障害教育、知的障害指導論、肢体不自由教育、肢体不自由指導論、病弱教育、障害者の心理・生理・病理、視覚障害教育、重複障害教育など

主な授業内容「発達障害指導論」

注意欠如多動性障がい、学習障がい、自閉症スペクトラム障がいなどの発達障がいのある子どもの教育について、事例をまじえながら個々の特性に応じた指導法を具体的に学びます。

※授業名称は令和6年度開講のものです。

● 特別支援教育特別専攻科 取得可能な免許状

免許状の種類

特別支援学校教諭一種免許状(領域:「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」)

● 令和6年度 担当教員

- [教授] 井坂 行男・大内田 裕・富永 光昭・西山 健・平賀 健太郎 [特任教授] 早野 真美
- [准教授] 奈良 里紗・正井 隆昌 [講師] 今枝 史雄・湯浅 哲也 [特任講師] 茂野 仁美

【 特別支援教育特別専攻科修了者の進路 】

(単位:人)

	就職者							進 学 其 他	合 計	合 計	合 計 の うち 現 職 教 員		
	教 員						保 育 所					企 業	公 務 員 (<small>教員除く</small>)
	公 立 学 校				公 立 学 校 以 外 の 教 員	小 計							
	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	特 別 支 援 学 校 ・ 幼 稚 園									
令和元年度修了者 (R2.5.1データ)	5(0)	1(1)	0(0)	15(7)	0(0)	21(8)	1	2	0	0	2	26(8)	4
令和2年度修了者 (R3.5.1データ)	4(0)	4(1)	0(0)	12(8)	0(0)	20(9)	0	1	0	1	1	23(9)	5
令和3年度修了者 (R4.5.1データ)	8(0)	0(0)	0(0)	12(7)	2(2)	22(9)	0	2	1	1	1	27(9)	8
令和4年度修了者 (R5.5.1データ)	5(0)	1(1)	0(0)	12(5)	1(0)	19(6)	0	3	0	0	0	22(6)	2
令和5年度修了者 (R6.5.1データ)	6(1)	4(1)	1(1)	9(3)	1(0)	21(6)	0	2	0	2	2	27(6)	9

※()内は、期限付講師等で内数

■ 入学料 および 授業料

令和6年度入学	入学料	入学時諸費用(大阪教育 大学校友会)	授業料(年額)
特別支援教育特別専攻科	58,400円	40,000円	273,900円

※「大阪教育大学校友会」は、教育研究活動、大学行事、課外活動、福利厚生、奨学金給付及び就職への支援など様々な学生支援事業を行うとともに、在学生を含む卒業生、修了生の同窓会活動への支援を行う組織です。入学時のみ必要な費用です。
※上記記載の金額は、令和6年度入学者の金額であり、令和7年度入学については、変更される場合があります。
※在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
※このほか、テキスト代や実習等の経費、課外活動等の経費は別途必要となる場合があります。

■ 免除制度(一般選考)

経済的理由により入学料・授業料の納付が困難であり、かつ、成績優秀と認められる方を対象に選考のうえ、入学料・授業料の全額又は半額が免除あるいは徴収が猶予されます。

● (参考) 令和5年度授業料免除実績

区分	免除率	前期		後期		免除額
		申請者数	免除者数	申請者数	免除者数	
専攻科	全額免除	5人	4人	3人	3人	958,650円
	半額免除		0人		0人	0円

■ 障がい学生修学支援ルーム

障がい学生修学支援ルームでは、障がい等のある学生が他の学生と等しく教育を受けることができるよう、各種の修学支援に取り組んでいます。また、入学後に修学上の配慮を希望する方の事前相談にも応じています。

問合せ先

- 柏原キャンパス(C6棟2階) **072-978-3479** (開室時間 8:30~17:15)
- 天王寺キャンパス(中央館204) **06-6775-6657** (開室時間 13:00~21:30)
- e-mail sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp (共通)

教員の声



湯浅 哲也
講師

近年の発達障がいや支援を必要とする子どもたちの増加に伴い、学校教育のあり方も変化しており、子どもに関わるすべての教員に特別支援教育に関する知識や専門性がますます求められる時代になっています。

本学特別専攻科は、発達障がいのある子どもに対する指導や支援を中心に、特別支援教育を担う教員養成を目的とした専攻科です。また、本学には視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱、重複障がい、言語障がいを専門とする大学教員が在籍しており、それらに関する講義や演習が開講されています。その特別専攻科に、関西を中心に全国から学生が入学しており、教員という目標に向けて切磋琢磨し合っています。そのため、学部卒業生や現職派遣教員など、多様な背景の学生が交流しながら、ともに学び合っています。近年の教育現場では、障がいを有する教員の活躍が注目されていますが、本学では障がい支援体制が整備されており、障がい学生も多く在籍しています。

また、在籍学生の大半が週末や夏季休業中に開講される集中講義も含めて同じ講義を履修するため、1年という短い修業期間ですが、特別専攻科生同士の絆も深まり、修了後も交流や情報交換が活発に行われるほど、親密な人間関係を構築できることが特別専攻科の強みと思っています。

そして、私自身が重度の聴覚障がいを有していることから、多くの学生が講義以外に手話及び聴覚言語障がいについて学びたく、個人的に研究室に訪れてきます。本学特別専攻科では、授業やレポート、特別支援教育に関する質問のみならず、点字や手話等の個別指導、教員採用試験に向けた対策等の学生のニーズに応じた丁寧な対応やサポートを行っています。

修了生の多くは、本学特別専攻科で身につけた専門性を、幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校の教員として発揮しています。最近では、現場で活躍している修了生と学校現場で再会することも多く、大変嬉しく思っています。

是非、大阪教育大学の特別支援教育特別専攻科で私たちとともに特別支援教育の専門性を高めてみませんか。

>>> 特別支援教育 特別専攻科 在学生の声

Student Voice

学部卒業生

田井 桃樺



入学を決めたきっかけ

学部生の時に教育実習やボランティアに行くなかで、支援を必要とする子どもたちの多様な姿に出会いました。子どもと保護者に寄り添い、育ちを支えていくためには、教員として特別支援教育に関する知識や実践力が必要であると感じ、専攻科で学びを深めたいと思ったことが入学を決めたきっかけです。

入試対策

特別専攻科に進学した学部の先輩方に相談をしたり、ゼミの先生に研究計画書の指導をしてもらったりしました。また、参考書を読んだり、特別支援教育に関するニュース記事や動画を見たりするようにしていました。

入学して良かったこと

様々な学びの経験や教員経験のある方が集まっていて、捉え方や経験談等から一度に多角的な学びを得ることができていると感じています。1年間という短い時間なので忙しくもありますが、その分、刺激と吸収の毎日で充実しています。

入学前にすれば良かったこと

特別支援教育に関わる言葉の意味など、基礎的な知識の少なさを痛感しています。1年間の授業で基本から、より実践的で深い部分までを扱ってくださるので、自分にとってより深い学びにするためにも、入学前の土台作りとして、もう少し知識をつけておけば良かったと感じています。

受験生へのメッセージ

濃い学びの連続の1年を過ごしませんか！

>>> 特別支援教育 特別専攻科 授業スケジュール

前期の授業スケジュール		月	火	水	木	金
1限					発達障害指導論	
2限				視覚障害教育	聴覚障害教育	重複障害教育
3限	肢体不自由教育				発達障害教育	
4限	病弱教育				聴覚障害心理	
5限					知的障害教育	

後期の授業スケジュール		月	火	水	木	金
1限						
2限			病弱者の心理・生理・病理		特別支援教育総論	
3限						
4限					障害者の心理・生理・病理	特別支援教育ゼミナール
5限						

集中講義 聴覚音声生理・病理、肢体不自由者の心理・生理・病理、知的障害者の心理・生理・病理、ユニバーサルデザイン授業論、聴覚障害指導論、知的障害指導論、肢体不自由指導論、特別支援教育実践演習

※上記の授業スケジュールは、令和6年度入学生用カリキュラムによる一例であり、入学後にこのような時間割になることを約束するものではありません。

Student Voice

現職

鈴川 了

大阪府立吹田支援学校 教諭



入学を決めたきっかけ

2000年度に本学大学院(芸術文化専攻・音楽)を修了後、府立高等学校で17年間勤務し、初めて支援学校へ異動。途中で認定講習を受講し特支2種の免許を取得しましたが、変わりゆく教育現場でどのようにすればより良い授業や支援ができるのかを考えるために、一旦休職をし、現場を外から見ながら学びたいと思いました。

入試対策

認定講習での資料を読み直ししたり、ウェブサイト等で特別支援教育に関わる部分を熟読したりするなどして準備をしました(現職でありながら、文科省や大阪府教育庁等のサイトをしっかりと読む機会はなかなかないものです)。また、指導要領で求められることと現場での実際について研究計画書を作成しました。

入学して良かったこと

とにかく最高です!(笑)勉強ができるという環境は素晴らしい。特別専攻科では学部を卒業してすぐの学生から現職、他業種の社会人、そして先生方、様々な世代の人たちと一緒に特別支援教育について考えることができる時間は本当に貴重なものです。

入学前にすれば良かったこと

準備をしておけば特にこれをすれば良かったということはないのですが、大阪府の現職は府教委からの派遣制度が無いので、休職をして入学するためにこの1年間を乗り切る財力をしっかりと用意しておく必要があります。

受験生へのメッセージ

どんな歳でも学べるって素晴らしい!

2022年3月専攻科修了

太田 泰史

草津市立老上西小学校
通級指導教室 担当



特別支援教育特別専攻科で 最先端の特別支援教育を学び、 みなさん自身を変えてみませんか？

通常学校では、年々ADHDやLD、ASDなど発達障がい原因となり、不登校や教室不適應などの二次障がいを引き起こす子どもが増加しています。私はその状況を「何とかしたい」という思いで、本学の特別専攻科で一年間、現職教員派遣という形で学びました。一年間の学びを終えて、自分の教育観や指導観だけでなく人生観までも180度変わったと思います。私は発達障がいコースで学んだのですが、WISC-IVやK-ABCなどのアセスメント法や、通常学級での応用行動分析に基づく支援方法など、現場ですぐに使える最先端の知識を学ぶことができました。その結果、特別専攻科で学んだことを現場で面白いように活かすことができている。また、特別専攻科の先生方は大変熱心なため、指定の講義やゼミだけでなく、個人的な指導も対面とオンラインとを学生の事情に合わせて併用しながら実施していただきました。どんな質問に対しても非常に丁寧に回答して下さいます。そして現場に戻った現在も、交流させていただいています。学部から進学される方等は特別支援学校の免許状を取得するだけでなく、教員となった後どの校種でも、本学での特別専攻科の知識が活かされると思います。ぜひ、特別専攻科を受験されることをお勧めします！

受験生へのメッセージ

学生の方、社会人の方、現職の方など、人生を変える素敵な経験を味わうために、特別専攻科をお勧めします！

2022年3月専攻科修了

大谷 まどか

奈良市教育委員会
教育支援・相談課
特別支援係
指導主事



子どもたちの笑顔のために、 インクルーシブな教育を！

私が特別専攻科を選んだきっかけは、聴覚障がいのある子どもとの出会いでした。また特別支援教育に携わる教員生活の中で「特別支援教育を充実させ、インクルーシブな教育を進めたい！」と日々感じていました。そのためには知識を深め専門性を高める必要があり、現職教員派遣で学ぶ機会を得ました。入学前は期待と不安が入り混じっていましたが、専門性が高く丁寧に指導くださる先生方と特別支援教育に対して熱意のある仲間に出会い、楽しく充実した1年を過ごせました。また知識や理論を講義で学ぶだけでなく、教育実習や論文執筆を通じた実践を通して、子どものかかわりから新たな教育の世界を経験する機会にも恵まれました。特別専攻科で私は教員としての、人としての豊かさを育んでもらえたと思っています。この学びをこれから出会う子どもたちに還元し、インクルーシブな社会創りに貢献していきたいです。ぜひあなたも特別専攻科で学んでみませんか？

受験生へのメッセージ

特別支援教育を学びたい！その志を大切に。

2022年3月専攻科修了

林 有咲

伊丹市立
伊丹特別支援学校 教諭



特別支援教育特別専攻科に 進学して

大学2回生の時に学び始めた手話を通して特別支援教育に関心を持ち、特別専攻科に進学することを決めました。今振り返ると、1年という短い期間ではありましたが、私にとっては非常に充実した1年を送ることができたように思います。講義では、それぞれの障がいに関する専門的な学びを得ることができたと共に、グループワークを通して他の学生と意見交換をすることでより考えを深めることができました。また、専攻科には現職の先生方や障がいのある子どもに関わる仕事をしたい方も多く在籍しており、学校現場についてお話を聞いたり、様々な考え方・見方に触れたりすることができる貴重な機会が多くありました。特別専攻科を通して、特別支援教育に関する豊かな学びや、新たな出会いを多くもつことができ、進学して良かったなと改めて感じます。

受験生へのメッセージ

皆さんも特別専攻科に入って充実した1年を過ごしましょう！

2021年3月専攻科修了

西川 昭子

滋賀県総合教育センター
特別支援教育係
研修指導主事



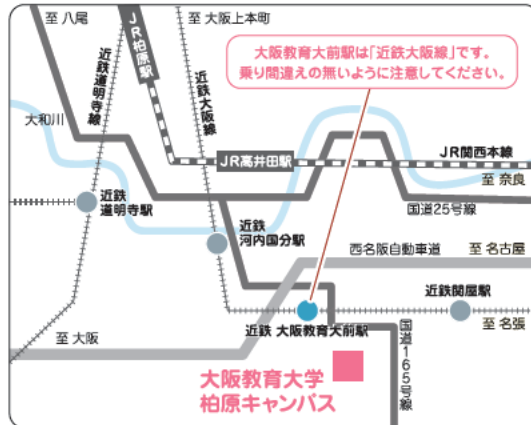
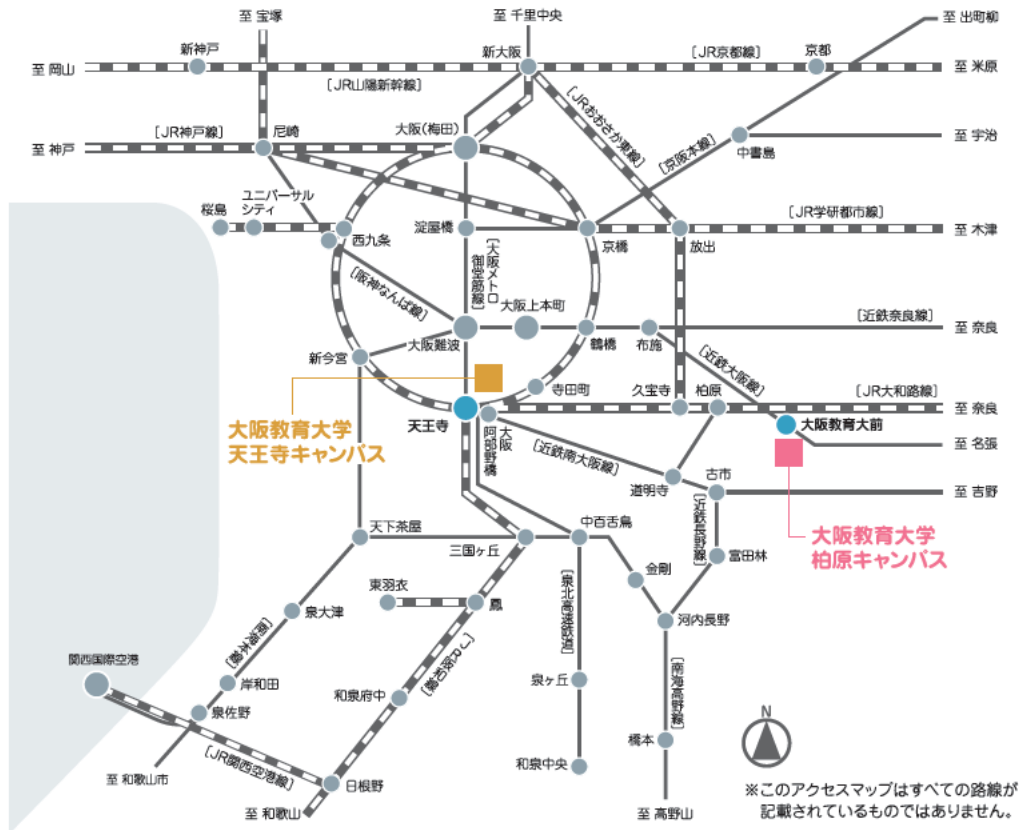
より深い学びを得られる場所で、 特別支援教育について考えてみませんか？

大阪教育大学の特別支援教育特別専攻科は、熱心な先生方に、深い専門的知識と豊富な実践例を教えていただくことのできる素晴らしい学びの場です。私は中学校教員として、障がいのある生徒たちに、より適切な支援をするにはどうしたらよいか考えたいと思い、現職教員派遣として特別専攻科に入学しました。たくさんの資料を元に進んでいく授業には、最初は圧倒されましたが、先生方がどんな質問にも丁寧に答えてくださるおかげで理解が進み、知識や理念が身についていくのを実感することができました。教育実習の事前事後指導や、論文の作成に対しては、遠方から通う私のためにオンラインでも実施していただき、万全のサポート体制で最後まで指導していただきました。そして、通級指導教室担当として働いている今も、教材や事例についてメールや電話で相談するなど、交流させていただいています。在学中・修了後を問わず人と人との繋がりが大切にされている特別専攻科で学ぶことができ、教育に対する考え方もより深いものに変わったと感じています。特別支援教育を学びたいと考えている方々に、ぜひ、大阪教育大学特別支援教育特別専攻科の受験をお勧めします。

受験生へのメッセージ

熱意ある先生、仲間が待っています。

ACCESS



大阪上本町駅から大阪教育大前駅まで近鉄電車で**23分**
 JR大阪環状線鶴橋駅から大阪教育大前駅までなら**19分**



国立大学法人
大阪教育大学

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/>

大阪教育大学 学務部入試課

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1 TEL 072-978-3323

この案内の表紙は、学校教育教員養成課程中等教育専攻美術・書道教育コース
 4年次 岡本繪吹さんがデザインしました。